

大分教育事務所訪問②-58 (計131)

大分市立原川中学校に学ぶ 学校経営から学ぶ

学校の教育目標「生きる力を育み、夢の実現に向けて、自ら考え行動できる生徒の育成」を達成するため、学校スローガン「『出会い・認め合い・助け合い』を大切」と定め、以下の5つの【提言】をもとに、全教職員でチームとして取り組まれています。

- ① すべての子どもにとって安心安全な学びの場を目指します。
- ② 学力の向上を図り、すべての子どもが進路選択に必要な学力の育成を目指します。
- ③ 場に応じた言動ができる社会性のある子どもの育成を目指します。
- ④ 母校に誇りを持ち学友を大切にできる心の教育を目指します。
- ⑤ 様々な教育活動を通じ、自己の進路選択に必要な資質・能力の育成に努めます。



また、不登校の対応として、スクールライフサポーターによる別室での支援がとても効果的に行われています。教室に温かな空気を感じ、生徒は自ら課題を設定し笑顔で取り組んでいました。



さらに、働き方改革にも先進的に取り組まれ、会議で使用する提案文書等は2週間前に共有フォルダに格納し、また、説明が必要なものについては短時間の

動画を取り入れることで、会議は短時間で行われています。

今後は、協議の際に確認した「自分で考え、行動する力」のように、学校をあげて育成を目指す(教科横断的な)資質・能力を、協議をとおしてより明確にされてみてはいかがでしょうか。このような上位目標を決めることで、行事などを企画する際に、目的の共通理解が行われやすくなり、実際の方法や手段は担当者に任せることがができます。そのことで、担当者の当事者意識が高まり、それぞれの担当者による協働的な新たなアイデア生まれ、より効果的、効率的な実践へとつながるとが期待されます。※参考資料「中学校学習指導要領解説 総則編 P48 2教科等横断的な視点に立った資質・能力 例：ウ 問題発見・解決能力」



NO.579 2021年12月 大分市立原川中学校

考え行動する

自分の立場を決める。自分の考えを言う。反対意見を聴く。自分の考えの幅が広がる。

授業から学ぶ

全ての学級の授業を参観させて頂きました。けじめをつけながら楽しく学び合う姿がとても印象的でした。何よりも教職員と生徒達の信頼関係ができています。それは、日常的に家庭訪問を行う等の生徒指導の未然防止や初期対応に加え、生徒自身が学級を大切にしていることだと思いました。

今後は指導案を作成する際、「振り返り」を

教師が願う具体的なゴールの姿を「生徒を主語」にして表記してみてもいいでしょうか。そのことで、教師が考えた「振り返り」と生徒が実際に書いたものとの違いを分析をしたり、「めあて」との連動、評価規準との整合性について互見授業を通して協議したりすることで授業改善がより推進されると思いました。



NO.581 2021年12月 大分市立原川中学校

夢の実現

目の前のことを一生懸命やることで、夢が実現できる。夢を持つことができる。



NO.580 2021年12月 大分市立原川中学校

生きる力

自立するためには、周りの人と協力できなければならない。だから、相手軸で行動する。